

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 7 日	
(宛先) 山形市長	
提出者	
住 所 山形市富神台15番地	
氏 名 株式会社 千歳建設 代表取締役 千歳 毅	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 023-647-1511	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 千歳建設
事業場の所在地	山形市内各現場
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	31億1500万円（令和5年度完成工事高）
③ 従業員数	46名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙による



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙による

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 再生可能なものと廃棄物として処理すべきものと区分し、廃棄物排出量の抑制を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 事前の格付により再生可能なものと廃棄物として処理すべきものを区分し、また、分別を徹底し抑制を図っていく予定である。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建設リサイクル法に基づいて、分別とリサイクルに取り組んでいる。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 社員のレベルアップを図り、リサイクルの向上を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
※事務処理欄			

(第4・5面)

年度)実績】

[illegible]

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物の処理工程

- | | | |
|-------------|---------------|-----------------------|
| ①がれき類 | | |
| 処理業者へ委託（破碎） | → 再生碎石として再資源化 | |
| 処理業者へ委託（破碎） | → 埋立処分（安定型） | |
| ②ガラス・陶磁器くず | | |
| 処理業者へ委託（分離） | → 土壌改良材として売却 | |
| 処理業者へ委託 | → 埋立処分（安定型） | |
| ③金属くず | | |
| 処理業者へ委託 | → 中間処理（切断・圧縮） | → 売却 |
| ④紙くず | | |
| 処理業者へ委託 | → 中間処理（焼却） | → 埋立処分（管理型） |
| ⑤木くず | | |
| 処理業者へ委託 | → 中間処理（破碎） | → 木材チップとして再資源化 |
| 処理業者へ委託 | → 中間処理（焼却） | → 埋立処分（管理型） |
| ⑥廃プラスチック | | |
| 処理業者へ委託 | → 中間処理（焼却） | → 埋立処分（管理型） |
| 処理業者へ委託 | → 埋立処分（安定型） | |
| ⑦汚泥 | | |
| 処理業者へ委託 | → 中間処理（脱水） | → 埋立処分（管理型）
及び廃水放流 |
| ⑧廃石膏ボード | | |
| 処理業者へ委託 | → 中間処理（破碎） | → 委託業者へ再生利用 |
| ⑨建設混合廃棄物 | | |
| 処理業者へ委託（選別） | → 上記内容で処理 | |

別紙 2

管理体制図

統括責任者 代表取締役 千歳毅		
廃棄物担当 現場所長		
役割	管理グループ	・ 廃棄物処理に関する検討 ・ 廃棄物の発生抑制、再利用、中間処理・適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 委員長：社長 委 員：担当役員、現場所長 事務局：総務経理部
	廃棄物管理 担当役員 総務担当	・ 廃棄物処理計画の作成 ・ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・ 処理業者、再生利用者の調査、選定及び管理 ・ 委託契約の締結、マニフェストの管理 ・ 社員、協力業者に対する教育、啓蒙 ・ その他関係する事項

管理組織図

